

## 災害医療論

責任者・コーディネーター	共通基盤看護学講座 小坂 未来 講師		
担当講座・学科(分野)	共通基盤看護学講座、救急・災害医学講座		
対象学年	3	区分・時間数	講義 12時間
期 間	前期		
単 位 数	1単位		

・学修方針（講義概要等）

災害の定義、種類とその特徴、災害急性期から慢性期における災害医療の課題・問題点、傷病者・被災者への支援制度・システムを学ぶ。その中で具体的に看護の役割を理解する。災害対応するための医療知識とともに、災害医療チームの一員として活動できる基本的な知識を修得し、災害時における多機関連携・調整の重要性を学ぶ。

・教育成果（アウトカム）

災害医療の原則や概念、そして過去から現在の災害時の医療活動を学ぶことで、多職種・多機関と連携し、看護師として災害時（急性期から慢性期まで）に適切な活動ができるようになる。

【学位授与方針と当該授業科目との関連】

ディプロマ・ポリシー：1, 2, 4, 6, 7, 8

・到達目標（SBO）

1. 災害の種類や災害サイクル、支援体制、危機と危機管理について説明できる。
2. 災害時の医療救護活動のフェーズ（超急性期～静穏期）と各期の看護について説明できる。
3. 災害時の医療救護活動の基本である CSCATTT について説明できる。
4. 被災した医療機関における受援についての机上訓練において討議できる。
5. 災害周期の変化に対応しながら多職種、多機関と連携・協働の上、安全なケア環境提供を継続するための机上訓練において討議できる。
6. トリアージの方法を理解し、実施できる。
7. 災害時における情報の重要性を理解し、通信手段を習得できる。
8. 収集した情報を分析し、災害の全体像を把握するための机上訓練において討議できる。
9. がれきの下の医療を理解し、適切な治療へつなぐためのシミュレーションを実施できる。
10. 避難所における支援活動の机上訓練において討議できる。

・ 授業日程

(矢) マルチメディア教室、 (矢) 災害時地域医療支援教育センター

【講義】

月日 (曜) 時限	講座(学科) 担当教員	授業内容/到達目標
6/9 (金) 4限	救急・災害医学講座 眞瀬 智彦 教授	災害医学総論 ・危機管理とは、災害関連法、防災とSDGs、CSCATTT、災害時の情報について説明できる
6/13 (火) 3限	救急・災害医学講座 眞瀬 智彦 教授	災害医学各論① ・過去の災害時の医療活動について説明できる ・超急性期から静穏期の看護について説明できる
6/20 (火) 3限	救急・災害医学講座 眞瀬 智彦 教授	災害医学各論② ・避難所での活動を説明できる ・特殊災害について説明できる
6/23 (金) 3限	救急・災害医学講座 眞瀬 智彦 教授 藤田 友嗣 講師 藤原 弘之 助教 富永 綾 助教 共通基盤看護学講座 小坂 未来 講師	(実習/ロールプレイ) トリアージ ・トリアージの方法を理解し、実施できる
6/30 (金) 3限	救急・災害医学講座 眞瀬 智彦 教授 藤田 友嗣 講師 藤原 弘之 助教 富永 綾 助教 共通基盤看護学講座 小坂 未来 講師	(実習/ロールプレイ) 情報通信・情報解析 ・災害時における情報の重要性を理解し、通信手段を習得できる ・収集した情報を分析し、災害の全体像を把握できる
6/30 (金) 4限	救急・災害医学講座 眞瀬 智彦 教授 藤田 友嗣 講師 藤原 弘之 助教 富永 綾 助教 共通基盤看護学講座 小坂 未来 講師	(机上訓練/協働型ケーススタディ) 受援 ・被災した医療機関における受援を理解し、適切に対応することができる
7/7 (金) 3限	救急・災害医学講座 眞瀬 智彦 教授 藤田 友嗣 講師 藤原 弘之 助教 富永 綾 助教 共通基盤看護学講座 小坂 未来 講師	(机上訓練/協働型ケーススタディ) 避難所 ・災害時における避難所について理解し、支援活動を行うことができる

7/7 (金) 4限	救急・災害医学講座 眞瀬 智彦 教授 藤田 友嗣 講師 藤原 弘之 助教 富永 綾 助教 共通基盤看護学講座 小坂 未来 講師	(実習/シミュレーション) がれきの下の医療 ・がれきの下の医療を理解し、適切な治療へつなぐことができる
------------------	---	--

・教科書・参考書等

教：教科書 参：参考書 推：推薦図書

	書籍名	著者名	発行所	発行年
推	災害医学 第2版	山本保博 鶴飼卓 杉本勝彦	南山堂	2009
推	DMAT 標準テキスト 改訂第2版	日本集団災害医学会	へるす出版	2015

・成績評価方法

定期試験（80点）、実習・机上訓練への参加態度（20点）により、総合的に評価を行う。

・特記事項・その他

**【事前事後学修の具体的内容及び時間】**

シラバスに記載されている内容及び各回に配布・掲示（WebClass 活用）されるレジュメを用いて事前学修（予習・復習）を行うこと。各授業に対する事前学修の時間は最低 30 分を要する。

**【授業における試験やレポート等の課題に対するフィードバック】**

授業の中で試験やレポートを課す場合は、次回の授業で解説を行う。

**【保健師助産師看護師学校養成所指定規則教育内容】**

看護師（別表 3）：統合分野 看護の統合と実践

・授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
講義	プロジェクター（VPL-FWZ60）	1	講義用スライド投影
講義	書画カメラ（P-100）	1	講義用資料投影
実習	レサシアントレーニングシステム	10	トリアージ実施演習
実習	トランシーバー（MOTOROLA GDB4500）	28	情報通信演習
実習	避難所運営ゲーム(HUG)	6	避難所運営机上訓練